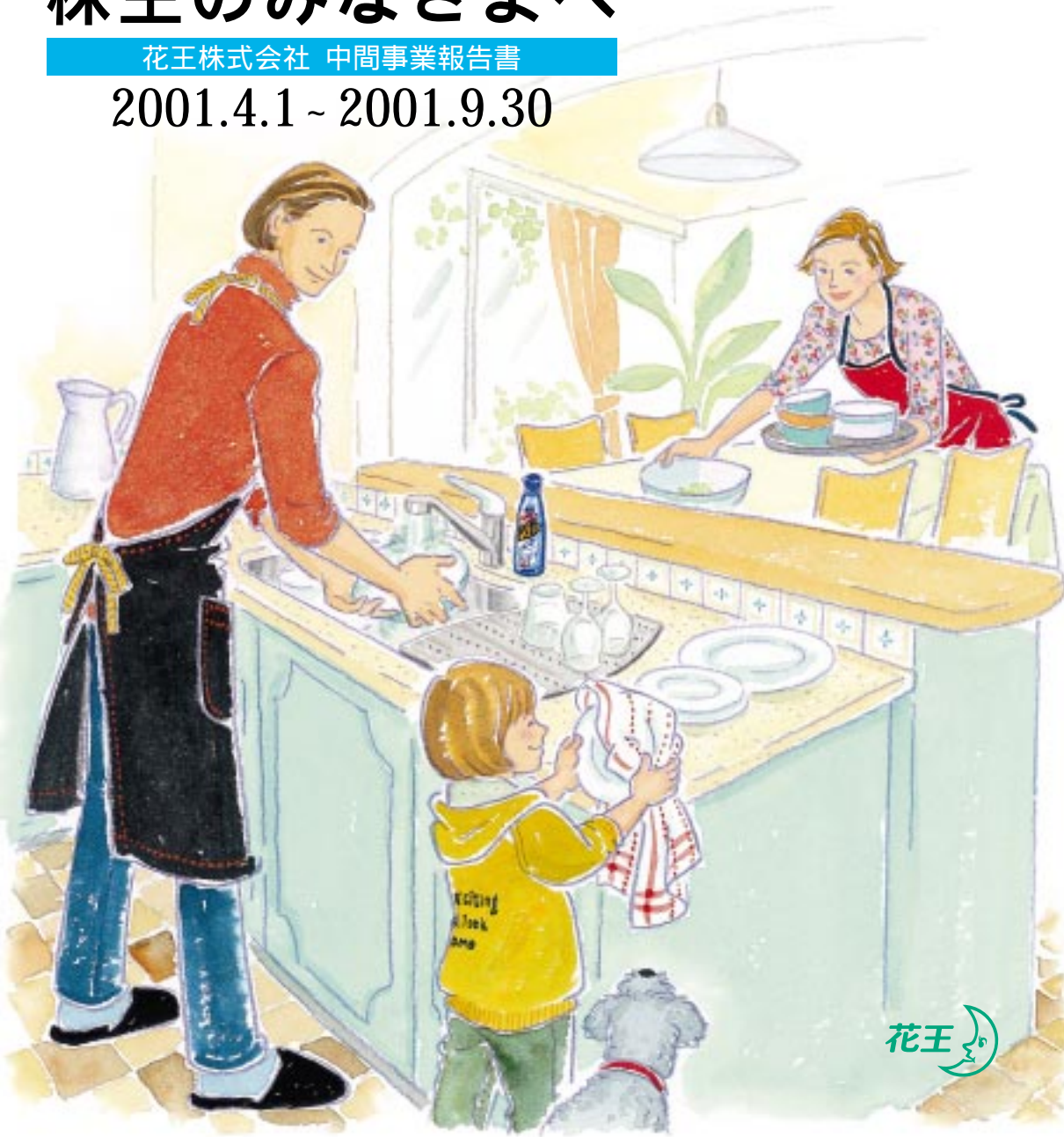


株主のみなさまへ

花王株式会社 中間事業報告書

2001.4.1 ~ 2001.9.30



厳しい市場環境を乗り越え、“利益ある成長”を

中間決算の概況

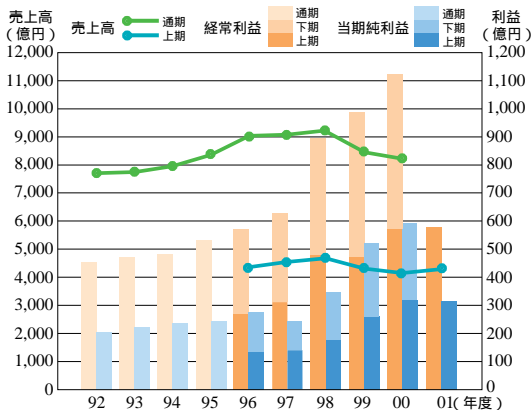
米国経済の低迷が長引き、世界的に景気が減速する中で、日本の景気も本格的な調整局面に入っており、先行き不透明感が増しております。個人消費面でも依然明るさが見えず、家庭用製品や化粧品の市場も、購入金額ベースでは前年を下回る状況が続いております。

こうした経営環境の下、当社の当中間期の連結売上高は、前年同期より98億円増加して、4,215億円(前年同期比102.4%)となりました。円安による換算為替差(54億円の増加)を除くと、前年同期比101.1%となります。国内事業の売上高は、工業用製品需要の急激な減少もあって、前年同期を若干下回る結果(前年同期

比99.2%)となりましたが、海外事業の売上高は、欧米の家庭用製品事業を中心に順調に伸長(前年同期比114.1%)しました。

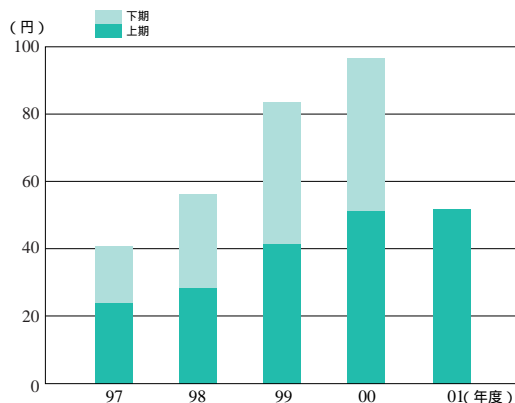
連結営業利益は573億円(前年同期比104.5%)となりました。価格下落などによる利益の減少をコストダウンや費用の効率化などでカバーして、国内事業が若干の増益になったほか、海外の工業用製品事業の利益が大きく伸長し、欧米の家庭用製品事業も利益の増加に寄与しました。一方、営業外損益が悪化したことにより、連結経常利益はほぼ横ばい(前年同期比100.3%)にとどまり、連結中間純利益は微減の314億円(前年同期比99.2%)となりました。

連結売上高・利益の推移



(注) 上期の連結売上高・利益は96年度分より算定しております。

連結1株当たり利益の推移



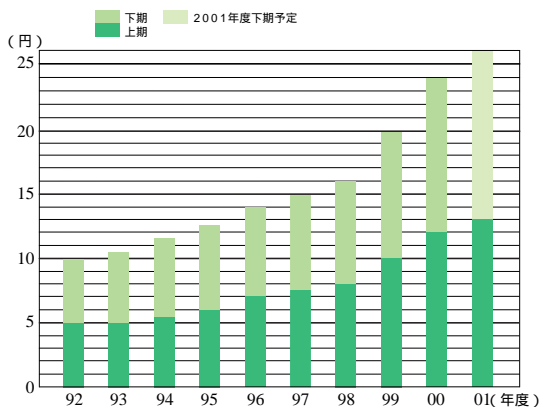
また前期に引き続き、当中間期も自己株式売却を実施するなど資本の効率化にも注力し、当中間期末の総資産残高は前期末に対して143億円減少しました。EVAは前年度に大幅に増加しましたが、当中間期においても、さらにほぼ予定通りの改善をみました。

当期の中間配当金は、当初の予定通り、前年同期より1円増配の13円とさせていただきます。

さらなる“利益ある成長”をめざして

以上ご報告申しあげた通り、厳しさの続く経営環境の下、当社は当面の業績目標の達成に向けて努力を傾注しております。とり

1株当たり配当金の推移



平成13年11月

花王株式会社

取締役社長 後藤 卓也

わけ、当中間期にも利益増加に大きく寄与したコストダウン努力は、今後も活動の柱に据えて取り組んでまいります。

そして当社は、さらなる“利益ある成長”をめざして、以下に掲げる5つの経営施策を全社をあげて力強く実行してまいります。

1. 基幹ブランドの市場シェアの確保・拡大

市場の縮小傾向が続く中では、自社ブランドの市場シェアを何としても確保し、拡大していくことが従来にも増して重要な経営課題となっております。

とりわけマーケット規模の大きい衣料用洗剤市場における「アタック」、スキンケア市場における「ピオレ」などに代表される当社

の基幹ブランドについては、現状の市場優位に甘んじることなく、絶えざる製品改良や戦略的・重点的なマーケティング施策を実行し、市場シェアの確保・拡大を図ってまいります。

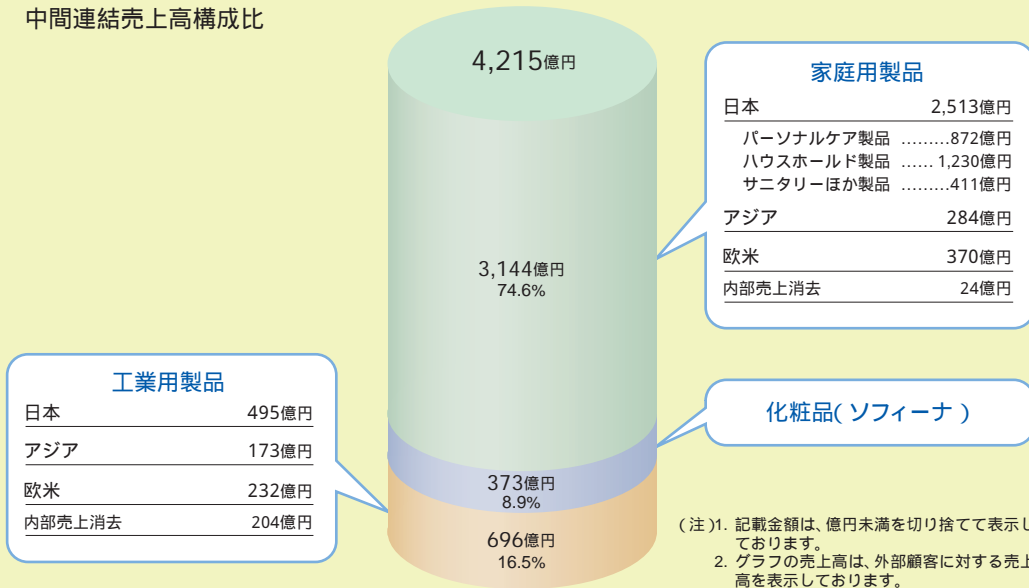
2. 新市場創造型の新製品の開発

国内市場、とりわけ家庭用製品や化粧品市場は成熟・飽和の状況を迎えているといわれておりますが、当社は、消費者の新たな生活スタイルや価値観に合致する製品、すな

わち新たな市場を自ら創り出すような製品は、まだまだ発展していく可能性を持っていると考えております。

今年春に発売した新製品、「アタックマイクロ粒子」、「コレステロール健康エコナ」、「レイシャスパウダーメイクアップなどは、消費者の生活習慣や、健康・美容に関する意識の変化をしっかりと捉え、それに的確に応える品質・機能を有した新製品として、大きなご支持をいただいております。

中間連結売上高構成比



(注)1. 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
 2. グラフの売上高は、外部顧客に対する売上高を表示しております。

3. 新規事業の開拓・育成

当社のコア事業、すなわち家庭用製品、化粧品(ソフィーナ)、工業用製品の3事業のプラットフォームを拡大する形での新規事業の開拓を図ってまいります。

とりわけ、世の中の健康志向の高まりに照準を合わせたヘルスケア関連分野は、将来大きな成長が期待できる事業分野であり、ここに長年培ってきた研究開発力、マーケティング力、販売力を積極的に活用してまいります。現状においては、「健康エコナ」関連製品が、食品市場において大きなヒット製品となっており、当社のヘルスケア事業の力強い牽引車の役割を果たしております。

4. 海外事業の強化

家庭用製品事業については、今後もアジアを最重点地域と位置づけ、昨年タイに設立した花王コンシューマー・プロダクツ(東南アジア)社を中心に積極的な事業展開を図るとともに、引き続き中国にも注力してまいります。また、北米においてはパーソナルケア事業の強化をめざし、欧州においては今後ともヘアケア事業中心の展開を進めてまいります。

工業用製品事業については、ポーダレス化の進む市場の中で、油脂製品、界面活性剤、

香料、トナーなど、強い技術と特長ある製品を有している事業を中心に、より広い視野に立ったグローバル展開を図ってまいります。

また、海外有力企業との提携やM & Aも重要な事業戦略として、今後も前向きに検討してまいります。

5. 業務革新による体質強化

当社を取り巻く経営環境は、今激しい変化を遂げつつあります。その変化に対応し、より強い企業体質を獲得すべく、当社は事業活動の全般にわたって、一段と高いレベルの業務革新に努めてまいります。中でも、流通業界の変化、消費者の購買行動の変化に即応すべく、販売活動面での革新に大きな力を注いでまいり所存であります。

当社は、以上のような諸施策の実行によって、さらなる“利益ある成長”を期するとともに、社会と共にある企業として自然環境に配慮し、また企業倫理についても厳しく自らを律して、広く社会から支持される企業であることをめざしております。

株主各位におかれましては、こうした当社の活動にご理解をいただき、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務報告の要約 (記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。)

連結

中間連結損益計算書

(単位:億円)

科 目	当中間期	前年中間期
	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで
売上高	4,215	4,116
売上原価	1,809	1,799
販売費及び一般管理費	1,832	1,768
営業利益	573	548
営業外損益	2	25
経常利益	576	574
特別損益	15	17
税金等調整前中間純利益	560	556
法人税、住民税及び事業税等	238	229
少数株主利益	(減算)7	(減算)10
中間純利益	314	316

(注)1株当たりの中間純利益

当中間期 51円78銭 前年中間期 51円25銭

連結子会社は65社、持分法を適用した子会社・関連会社は19社です。

前年中間期に対する伸長率

売上高 2.4%(海外売上高の換算為替差を除くと1.1%)

営業利益 4.5%

経常利益 0.3%

中間純利益 0.8%

連結売上高に占める海外売上高の割合は23.7%で、前年中間期に対して2.2ポイント増加しました。

中間連結貸借対照表

(単位:億円)

資産の部	当中間期	前期
	平成13年9月30日現在	平成13年3月31日現在
流動資産	3,532	3,662
現金及び預金	219	166
売掛債権	1,007	1,035
有価証券	1,383	1,496
たな卸資産	696	699
その他	225	265
固定資産	4,160	4,174
有形固定資産	3,005	2,979
建物及び構築物	1,000	1,015
機械装置及び運搬具	1,010	977
土地	763	765
その他	230	222
無形固定資産	539	573
投資その他の資産	615	621
繰延資産	1	0
資産合計	7,694	7,837

負債、少数株主持分及び資本の部	当中間期	前期
	平成13年9月30日現在	平成13年3月31日現在
流動負債	2,219	2,305
買掛債務	706	707
未払金	251	278
未払費用	639	622
その他	622	696
固定負債	698	694
社債及び長期借入金	382	431
その他	315	263
負債合計	2,918	3,000
少数株主持分	215	207
資本金	854	854
資本準備金	1,088	1,088
連結剰余金	2,887	2,986
その他有価証券評価差額金	44	60
為替換算調整勘定	305	356
自己株式等	9	4
資本合計	4,560	4,629
負債、少数株主持分及び資本合計	7,694	7,837

(注)有形固定資産の減価償却累計額 当中間期 7,179億円 前期 7,047億円

前期に引き続き、当中間期も利益による自己株式消却(11,406千株、336億円)を実施しました。

単 独

中間損益計算書

(単位:億円)

科 目	当中間期	前年中間期
	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで
売 上 高	3,304	3,329
売 上 原 価	1,333	1,381
販売費及び一般管理費	1,494	1,480
営 業 利 益	476	468
営 業 外 損 益	26	17
経 常 利 益	503	486
特 別 損 益	16	15
税引前中間純利益	486	470
法人税、住民税及び事業税等	198	196
中 間 純 利 益	288	274
前 期 繰 越 利 益	325	252
利益による自己株式消却額	336	169
中 間 未 処 分 利 益	276	356

(注) 1株当たりの中間純利益

当中間期 47円40銭 前年中間期 44円21銭

前年中間期に対する伸長率

売上高 0.8%

営業利益 1.6%

経常利益 3.5%

中間純利益 5.2%

当中間配当金は前年中間期より1円増配の1株当たり13円とさせていただきます。また、年間配当金は、期末配当金と合わせ、前期より2円増配の1株当たり26円を予定しています。

中間貸借対照表

(単位:億円)

資 産 の 部	当中間期	前 期
	平成13年9月30日現在	平成13年3月31日現在
流 動 資 産	2,576	2,787
現金及び預金	77	45
売 掛 債 権	540	575
有 価 証 券	1,314	1,444
た な 卸 資 産	434	450
そ の 他	209	271
固 定 資 産	4,267	4,285
有形固定資産	2,123	2,128
建物及び構築物	751	765
機 械 及 び 装 置	678	657
土 地	544	545
そ の 他	149	159
無形固定資産	255	285
投資その他の資産	1,888	1,872
関係会社株式・出資金	1,378	1,366
そ の 他	509	505
資 産 合 計	6,843	7,073

負債及び資本の部	当中間期	前 期
	平成13年9月30日現在	平成13年3月31日現在
流 動 負 債	1,675	1,745
買 掛 債 務	571	583
未 払 金	219	242
未 払 費 用	479	466
そ の 他	406	453
固 定 負 債	504	519
社債及び長期借入金	348	398
そ の 他	156	121
負 債 合 計	2,180	2,265
資 本 準 備 金	854	854
資 本 準 備 金	1,088	1,088
利 益 準 備 金	141	133
その他の剰余金	2,541	2,672
その他有価証券評価差額金	43	59
自 己 株 式	5	
資 本 合 計	4,663	4,807
負 債 及 び 資 本 合 計	6,843	7,073

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 当中間期 6,256億円 前期 6,173億円

2. 従来、資産の部に計上してありました「自己株式」は、当中間期から資本に対する控除項目として資本の部の末尾に記載しております。

新製品のご紹介

メリット® シャンプー/うるおいリンス リンスのいないメリット®

髪と地肌と同じ「弱酸性」

発売から31年を迎えた今年、「メリット」が生まれ変わりました。髪と地肌と同じ「弱酸性」です。スッキリとした洗い上がりと、おだやかな洗い心地を実現しました。フケ・かゆみを防いで、なめらかでつややかな髪に仕上がります。小さなお子様をはじめ、家族全員に愛されるシャンプーをめざします。



キッチンワンダー® 排水口用 ヌメリとり

ヌメリ・悪臭の元をスッキリ落とす

排水口に置くだけで、水を流すたびにカセット内部の錠剤が徐々に溶け出し、排水口全体に洗浄成分がゆきわたるので、手を汚さずヌメリの元をスッキリ落とし、排水口をきれいにします。

中性タイプなので、洗剤や漂白剤、食材を流しても安心してお使いいただけます。ゴミ受けかごや排水口の材質も傷めません。洗浄効果は約2カ月*持続します。

*使用する水量、水温によって多少の違いがあります。



ホームページのご案内

下記の当社ホームページでは、決算や新製品に関する情報など、さまざまな情報を提供しております。ぜひご覧下さい。

<http://www.kao.co.jp/>

株主メモ

・株式に関するお問い合わせ先(名義書換代理人)

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4

中央三井信託銀行株式会社 証券代行事務センター

TEL (03) 3323-7111(代)

・お知らせ

住所変更、単元未満株式(旧単元未満株式)買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人の下記のフリーダイヤル及びホームページにて24時間受け付けております。

☎ 0120-87-2031(自動応答)

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06/p_06_11.html

(注)証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引のある証券会社にお申し出下さい。

清潔で美しくすこやかな毎日をめざして

花王株式会社